

1 講座名	理科	6 教科書名
2 科目名（教科）	看護生物	1年時に使用した生物基礎の教科書（実教出版）
3 開講学年	3	7 使用教材
4 履修区分	フィールド選択	1年時に使用した生物基礎のカラーノート
5 単位数	2	

1 科目の目標・学習内容

【目標】生物分野の基礎的・基本的な概念や原理・法則の理解を深め、医療に関する生物分野の知識・技能を身に付ける。医療従事者としての職業観や倫理観について探求する。 【内容】人体の構造と機能、調べ学習、生物基礎の補完的・発展的内容

2 学習の到達目標

a	（関心・意欲・態度） ・医療に関連する生物の事物・現象に興味・関心や探求心を持ち、意欲的にそれらを探究していく中で、科学的な見方や考え方や態度を身に付けている
b	（思考・判断） ・医療に関連する生物の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している
c	（技能・表現） ・観察や実験、調べ学習、探究学習等を通して、事象を科学的に考察し、表現し、処理する仕方や推論の方法を身に付け、他と協力しながらよりよく問題を解決できる
d	（知識・理解） ・医療に関連する生物の事物・現象について基本的な概念や原理を理解し、身に付けた知識を活用できる

3 学習計画

<特に培いたい資質・能力>

①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・積極性」④「協調性・柔軟性」⑤「チャレンジ精神」⑥「責任感・使命感」⑦「探究心・質問力」

月	単元名	学習内容	資質・能力	単元の評価規準 (先頭の番号は評価の観点)	評価方法
4 5 6 6 7 8 9	4章生物の多様性と生態系 (1年次「生物基礎」積み残し) 前期中間考査 人体の構造と機能	植生と遷移、気候とバイオーム、生態系と物質循環、生態系のバランスと保全 1物流システム（循環器系（心臓）、泌尿器系（腎臓）） 2代謝システム（消化・吸収、酵素、肝臓等） 3防衛システム（免疫系） 前期期末考査	① ② ③ ⑦	①ヒトの臓器モデルを作成し、位置関係を理解する ①臓器の働きと疾病を理解する ②実験・観察を通して探求し、規則性、関係性、特徴などを ③見いだして表現する ③好奇心や驚きを大事にして主体的に関わり、科学的に探究している ⑦学習事項をメタ認知して、知識を活用できる	臓器モデルの作品の完成度 DNAモデルの作品の完成度 小テスト 実験結果（考察・感想） ノート（スケッチ、図、グラフ）
10 11 12 1	人体の構造と機能 (高大連携授業) 探究学習 後期期末考査	4恒常性の維持（血糖、体液） 5運動システム（骨格、筋肉） 6遺伝システム 探求学習「理想の看護師像」 調べ学習「気になる病気」 後期期末考査	① ② ⑦	①気になる疾病を理解する ②グループ活動を通して、他者の考えを尊重し理解を深められる ②図やグラフを読み取れる ②科学記事を要約できる ②調べた内容を伝えられる ⑦学習事項をメタ認知して、知識・理解を深められる	小テスト 実験結果（考察・感想） ノート（スケッチ、図、グラフ） 調べ学習の発表資料 調べ学習の発表態度等 調べ学習を聞いての質問力

(主な実験)

「人体模型作成」「マイクロメーターの使い方」「DNAモデル作成」「タマネギの体細胞分裂」「タマネギのDNAの抽出」「ユキノシタの原形質分離」「アカムシのだ腺染色体」「kJ法」「ジグソー法」

4 評価基準等

・上述2の学習の到達目標に示した4観点に照らして、定期考査（知識・理解）、実験・観察に取り組む態度（主体性・協働性）、実験・観察結果を考察し因果関係を理解しているか、予習・復習への取り組み（小テスト）、調べ学習や探究学習において情報を取捨選択し分かりやすい資料を作れるか、その資料を用いて発表し分かりやすく内容をつたえられるか、他人の発表を聞いて質問できるか、などをもとに総合的に判断、評価する

5 その他

・1学年で使用した生物基礎の教科書を使います。受験対策の基本は「教科書の読み込み」です。1学年での積み残しがあれば補完します。専門学校で生物が受験科目にある学校は、ほとんどが「生物基礎」が範囲です。

・4単位「生物」の内容が受験科目になるのは大学（北大・札医、天使、道医療大等）の共通テスト利用及び一般入試です（変更があるので募集要項を必ず確認してください）。但し、上級学校に進学してから必ず必要になる知識です。

・医療系の専門学校の生物分野の受験に対応できる学力を身に付けます。大学level、共通テストlevelの学力、及び上級学校進学後の講義について行ける知識理解については進学講習で対応します。

・理想の看護師像をKJ法を利用して探究します。看護師の職業理解をジグソー法で深めます。

・調べ学習は図書館や第二情報処理室なども利用して実施します。

・北海道医療大学や北見工業大学との高大連携授業を通じて、医療従事者として必要な資質・能力（コミュニケーション能力、科学的なものの見方・考え方など）や上級学校レベルの生物学の概念を身に付けます

- 1 必修
- 2 フィールド選択
- 3 自由選択
- 4
- 5

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

- ⑥
- ⑦